

「お仕事頑張ります」と自己決定し、 明るく元気に働く大人に

～ 本人の思いを育て、その思い(自己決定)を支援して39年～

講師 / 明石洋子氏・明石徹之氏

明石陽子さんの略歴から

「社会に自立」を子育ての方針にし、
親亡き後の不安感には、日中活動の場・
暮らしの場・二四時間三六五日必要な
時のサポート体制この三点セットが、
地域の中にあがり、気軽に使えれば、解
消すると考え、地域作業所2ヶ所・グ
ループホーム5ヶ所・サポートセンター
(居宅介護・移動支援、日中預かり等)
を設立運営。

現在相談支援事業含め十一の事業
を展開中。地域作業所も街の中の八百
屋さん等お店として地域と交流しなが
ら、地域への就労拠点と位置づけし、
地域の商店や企業更に公務員への就労
の道を開く。さらに、リスクの多い地
域で親亡き後も暮すには、人権擁護が
必須と、平成二十一年四月川崎市内五
つの親の会を構成団体にして、「NPO
かわさき障がい者権利擁護センター」
設立。



とき 7月29日(日)午後1:15～4:00 (午後1時開場)

ところ 訓子府町公民館 講堂 (訓子府町役場・カッパプールのとなりです)

訓子府町東町410 電話0157-47-2121

会費 一般の方 1,000円 (懇話会会員は500円)

問い合わせ 懇話会事務局 市野 / TEL(0157)47-2185 (訓子府中学校)

FAX(0157)47-2728 (訓子府中学校)

申し込みは不要です。当日直接会場にお越し下さい。 E-mail ichino51@nifty.com

プログラム (予定)

- 13:00 開場
13:15 主催者あいさつ
13:20 明石徹之氏 講演
13:45 明石洋子氏 講演
16:00 終了

講師紹介

明石洋子氏 (1946年生まれ 九州大学
薬学部薬学科卒 元薬剤師)
現職 社会福祉法人あおぞら共生会副理事長
川崎市自閉症協会会長 NPOかわさき障
がい者権利擁護センター副理事長 NPO全国
障害者生活支援研究会(サポート研)監事 障
害者権利擁護センター「くれよんらいふ」理事
川崎市心身障害者地域福祉協会理事 社会
福祉法人「ともかわさき」理事 川崎市特別支
援教育整備検討委員会等委員 川崎市障害
者施策推進協議会委員 川崎市障害者団体
部会副部長

略歴 知的障害を持つ自閉症の長男の成長
に合わせて、地域訓練会(親の自主訓練会)・保
育園・義務教育(普通級)・高校進学へ、そして
放課後は学童保育・学齢児活動、更に「アイス
スケート日曜学級」「夏休み水泳教室」等余暇活動
を企画運営して、同年齢児や地域の人々と少し
でも多く接する場と機会をつくり、働く場も地域で
と、心のバリアフリーと、ノーマライゼーション実現
のための市民活動を、30年続ける。

著書に「ありのままの子育て」「自立への子育
て」「お仕事ががんばります」(ぶどう社)発刊(韓国
で翻訳版3冊及びコミック3巻も出版)。薬剤師の
職能を生かして、「からだ!!げんき!？」(全日本育
成会)発行。その他全日本育成会の情報誌「手
をつなぐ」の編集委員(4年間)として原稿多数掲

載。その他、発達障害者支援法ガイドブック(河
出書房新書発行)、自閉症ガイドブック(日本自
閉症協会発行)等共著での著書も多数。保育学
会誌や「小児科臨床」に論文掲載。(小児科臨床
2008年12月「自閉症のいわゆる問題行動とその
対応」等)

明石徹之氏は、定時制高校卒業後、1971年7
月から川崎市の公務員として働いている。2009年
4月から川崎市夢見ヶ崎動物公園に勤務。
・NHK総合TV「笑顔で街に暮らす」(25分)・NH
K・BS「お仕事ががんばります」(50分)・韓国KBS
「走って世の中に」(60分)等のドキュメント番組に
出演、NHK「生活ほっとモーニング」生出演(50
分)。日本・アメリカ・韓国で講演多数。

著書 (ぶどう社刊) 紹介

『ありのままの子育て』

超多動の徹之に振り回されながら、どう育ててい
ていいかわからず涙にくれていた時代から、地域に
飛び出して行って、地域を耕しながら仲間や支援
者を見つけていった過程を書きました。

『自立への子育て』

家庭で、日々の生活の中で、ことば・トイレ・偏食・こ
だわり・お手伝い・お金など、生活に必要なさまざま
な力を、どうやって育てたか、どうやってしつけた
かを、その教え方の知恵や工夫を細かく具体的に
書きました。

『お仕事ががんばります』

中学時代から「働いて楽しむ」を目標に、定時制
高校では楽しい高校生活を送りながら、作業所や
街のお店で働く体験をし、卒業後は公務員試験
を突破して、川崎市職員として働いています。その
歩みをていねいに書きました。